

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて

環境安全課

1. アクセスについて

アクセス件数

7月 175 8月 2,980 9月 2,170 10月 2,972 11月 31,994
12月 18,012 1月 52,458 2月 25,835
計 136,596 件

検索について

- ・環境ホルモンという語もホームページ内に埋め込み済み。
- ・「環境ホルモン」で Google にて検索した場合、6番目に環境省ホームページ「化学物質の内分泌かく乱作用について」が表示されるが、このホームページは表示されない。「内分泌かく乱」で検索した場合、3番目に環境省ホームページ「化学物質の内分泌かく乱作用について」、7番目に本ページが表示される。

【今後の方針】

- ・環境省ホームページ「化学物質の内分泌かく乱作用について」における本ホームページの文字タイトル横にバナーを追加。

2. 平成17年度第1回検討会以降の状況について

トップページ

- 9月 「はじめに」の文章を変更。
1月 「更新履歴」の追加。

コラム・エッセイ

- 9月 (財)世界自然保護基金ジャパン 村田幸雄
「市民は環境ホルモン問題をどう考えたらよいのでしょうか」
1月 自然科学研究機構 井口泰泉
「環境と遺伝子」「雌化・雄化と基礎研究」
3月 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 中下裕子
「『チビコト』を読んで」

対談・インタビュー

- 10月 安井至（国連大学副学長） 小出重幸（読売新聞東京本社編集委員）
「“環境ホルモン騒動”を検証する」

詳しく知りたい

- 10月 人（哺乳類）における内分泌系を掲載。

国内の取組

- 3月 「研究の成果」という項目を設け、科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業チーム型研究（CREST タイプ）「内分泌かく乱物質」研究領域の研究成果（監修：化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会座長 鈴木継美先生）を掲載。

環境省の取組

- 1月 第8回国際シンポジウム（沖縄）において、環境省の取組紹介のために展示したパネル映像をホームページ上に掲載。

国際シンポジウム情報

- 11月 第8回国際シンポジウム開催お知らせとともに事前アンケートを掲載。
1月 第8回国際シンポジウムの報告掲載。事前アンケートのうち「メス化現象等が内分泌かく乱作用として知られるが、その他考えられる影響について知りたい。」という質問がパネルディスカッションにおいて使用され、英国研究者タイラー氏からの回答がなされたことを記載。
第9回国際シンポジウムの開催日時・場所について情報を掲載。

資料集

- 10月 専門家向けデータベースに「メダカアトラス」「カエルアトラス」を掲載。
1月 関連資料集に「チビコト：ロハス的環境ホルモン学」を掲載。

アンケート・意見募集

- 9月 アンケート・意見募集ページを開設。

<これまでのアンケート結果>

（1）アンケート回答者

全て男性

10代 1名無職 20代 2名 化学物質関連会社員、学生

30代 3名 アルバイト、その他、その他 40代 0名 50代 2名 会社員、その他

（2）興味があること

人健康 4名、野生生物 1名、植物エストロジェン 2名、下水処理 1名、リスクコミュニケーション 1名、メス化 1名、精子減少 2名、低用量効果 2名、その他 3名

(3) 分かりやすかった部分

簡単に知りたい3名、コラム2名、対談1名、詳しく知りたい5名、国内での取組3名、資料集1名

(4) 分かりにくかった部分

簡単に知りたい1名、コラム2名、国内での取組2名、資料集4名

(5) 勉強になった部分

簡単に知りたい2名、コラム1名、対談2名、国内2名、資料集3名

(6) 全般的評価

面白かった2名、見やすかった1名、勉強になった2名、また機会があれば読みたい1名、もう少し工夫してほしい1名

<意見募集に寄せられた意見>

50代男性化学物質関係以外会社員

さて、リンク集・学界の取組みで、環境ホルモン学会がリンクされていますが、本当にリンクするに相応しいHPでしょうか？ 疑問に思います。当学会のHP・掲示板は放置状態のようであり（2000人を要する学会の掲示板とは信じられません。）又学会長の、中立と云いがたいコメントが掲載されております。学会の紹介は結構ですが、リンクについては、再考されることをご検討下さい。

個人情報・著作権

9月 一部文章を修正。

3. 今後の予定

コラム・対談

【コラム執筆依頼済み・予定者】

- ・村松秀（NHK 科学・環境番組部 専任ディレクター）
- ・森田昌敏（環境ホルモン学会 会長）
- ・西川洋三（元三菱化学㈱ 環境安全部 部長）
- ・青山博昭（残留農薬研究所 毒性部副部長兼生殖毒性研究室長）
- ・堤 治（東京大学医学部附属病院産科婦人科 教授）
- ・安間節子（化学物質問題市民研究会 事務局長）
- ・千石正一（自然環境研究センター 主幹）

*このうち2名による対談形式とすることもあり。

【原稿掲載にあたっての方針（案）】

- ・ 検討会委員本人もしくは検討会委員の紹介者からの寄稿は原則掲載。
- ・ 環境省の事業に協力していただいている専門家からの寄稿は原則掲載。
- ・ 事務局に対し、上記いずれでもない方から寄稿の申し出があった場合は、掲載の可否をメール等で検討会委員に諮る。

詳しく知りたい

平成 18 年度において、「魚類・両生類・無脊椎動物の内分泌系」及び「広範な内分泌系のターゲット」についての説明追加予定。

環境省の取組

4 月中に、エコクラブ全国フェスティバルで使用した「身近な生き物観察事業」についての説明スライドや、エコクラブでの活動写真等を掲載予定。

国際シンポジウム情報

第 9 回に向けてもアンケートを掲載予定。掲載時期を早める。

国際的な取組

平成 18 年度中に国際的な取組ページを作成予定。

資料集

専門家向けデータベースに、これまでの哺乳類試験結果をまとめたスライドを掲載予定。